



NPO PTPL “ともいき” 便り No.39

■立冬（りっとう）11月7日から21日までの節気（2013年11月7日発行）

おや、もう立冬？ 冬の始まりですね。歳をとると、時間の経つのがなんとも速い。一日が24時間あるとはとても思えません。ことしも残すところ、あとふた月。やれやれとの思いがつのり、そう感じるのが老いた証拠だと自覚します。

4月、桜の季節に港区麻布仙台坂から目黒区に転居。すぐ近くに緑道がある住宅地です。もとは小川であり、やがて家庭排水などでドブ川になり、それを暗渠にして造った桜並木の道。通るたびに桜たちを眺めます。

桜という木は、8月には一部の葉が色づき散ってくる。その黄色や紅色の美しいこと。幾度となく拾ってしげしげ眺めました。桜の木よ、どうして一枚ごとに違う色に染めるのか。どんな絵具でも表せないだろう美しい色彩です。なんとすばらしい絵描き。虫食いの穴も風情となって。自然というものの才能に、つくづく感心してしまいます。食卓に置いて、一日かせいぜい二日眺めて、暑かった夏を暮らしました。

そうそう、そういえば緑道はよい事ばかりではない。5月のある朝、NPO PTPLに行く途中、ビシャッ！という音がして、鴉が、フンをぼくの肩に命中させたことがありました。これも自然のいとなみ。ですが、なんとも惨めな朝でした。

ところで食材の偽装事件が続いています。あの一流百貨店高島屋も、6店でウソの表記をしていたという。「最長9年半、18万点販売」と朝日新聞は報じています（11月5日夕刊）。ブラック企業が問題になっているさなかに、有名企業もブラックなことをしていたのです。長い間お客さんはだまされて、嘘の「車エビ」と称する「ブラックタイガー海老」を食べていたわけです。味はさほど変わらないから、だまされていたことに気付かなかったのでしょうか。店の名前で信用して？ あなたも、ぼくも？

食材は、植物も動物も「自然」が恵んでくれる「いのち」。「いただきます」は、そのいのちを頂くという挨拶、「ごちそうさま」は自然のいのちを頂きましたという感謝の挨拶であるのに、金儲けに目がくらむ企業が市民をだます悪事を働いている。なんとという経済大国、文化国でしょう。人の心を傷つける。信用を裏切る。それは犯罪ではないでしょうか。

ブラックタイガーこそ、いい迷惑。車えびレベルのおいしさなのに、犯罪の道具にされてしまった。彼らこそ被害者です。「正直の頭（こうべ）に神宿る」とは昔の「いろはかるた」にある一枚でした。こんな偽装が多く分野で行われていると、日本という国は世界の信用を失ってしまうでしょう。日本人全体が肩身の狭い思いをすることになります。その責任の重さを、企業はどのように考えて、謝罪のあたまを下げているのか、疑問です。

改めて、「ともいき」を思います。人を信用し、自然を尊敬し、その自然と共に生きること。日本の誇りを生きたい、とつくづく思います。

文：朝倉 勇 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事)

■ ともいき・ともうみ雑感彼是

秋と冬が隣り合わせの時季。立冬。

最北端から最南端まで、約3300Kmの日本。亜寒帯から亜熱帯まで連なっていますが、緯度45度から30度までの間を中心とする範囲に存在し、ほぼ大半は温帯に属しています。

晩秋から初冬のこの時季、台風シーズンも終わり一年で最も季節の変化がある月でしょう。黄葉、紅葉の華やかさの中にも静かな自然の姿、山茶花も咲き始めています。

関東以西では冬とは思えない小春日和もありますが、朝晩の冷え込みも、次第に強まり、冬の気配、冬の予感があちこちに感じられるようになります。

立冬が終わるころには、いつの間にか冬めき、朝の庭に霜を見るころになります。

お近くの街路樹、公園などに行って、秋から冬への移り変わりや冬の先触れを体感しましょう。

● 11月のしきたりの中から、今日は七五三の話をしましょう。

旧暦、11月15日（満月）の七五三は、明治の改暦の時に、11月15日をそのまま、新暦の11月15日に置き換えたため、七五三という人生の通過儀礼を新暦11月15日に行うことになりました。

新暦11月15日は今年旧暦の12月17日、満月です。

まだ、押し詰まっていない、年末の忙しくなるちょっと前の12月中旬に、神様への子どもの一年間の成長に感謝するお礼参りだったのです。

朝、神社に行って手を合わせ、神様にお陰さまで子どもは、こんなに元気に、丈夫に育っていますという感謝の報告をし、夜は家族で観月、そしてお月様に子どもを見てください。こんなに成長しました。これからもよろしく見守ってくださいという祈願をしたのでしょ。

自然の大きな循環の中で生きるということ“生活の知恵”としてきた祖先。毎月の節目、一年の節目、季節の節目、人生の節目を大切にし、生活に潤いと豊かさをつくってきた祖先に感謝し、敬うという気持ちを大切にしましょう。

勝田 祥三 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事長)

■ 事務局だより

● 11月4日の連休最終日、久しぶりに上野の東京国立博物館・平成館で開催されている「特別展 京都～洛中洛外図と障壁画の美～」に行ってきました。某テレビ局の開局60周年を記念した展示会だそうですが、屏風や障壁画の素晴らしさは言うまでもありませんが、特に洛中洛外図の解説にあたり、実物の展示だけでなく、大型画面にて描かれている緻密な描写がわかりやすく、当時の都の賑わいが蘇ります。

● さらに、石庭で有名な龍安寺からは明治の廃仏毀釈で散逸した襖絵が初めて里帰りしています。廃仏毀釈で相当な仏教に関わる宝物が壊され、散逸されたことは非常にもったいないことですね。

● 最後に、さすがテレビ局主催。これからのテレビと言われる4Kで撮影された龍安寺の石庭の四季の映像（想像以上の大きな画面）は見るものを圧倒し、石庭の背景にあたる木々の見事な配置に当時の都人の自然に対する感性が感じられます。

この特別展は12月1日まで開催。

● そろそろ、紅葉の見ごろの便りが届いています。東京でも少しずつですが、色づき始めています。春の桜と夏の緑、秋の紅葉、そして雪景色と日本列島は本当に四季ごとに彩られる国ですね。

● NPO PTPL 会員（法人・個人）を常時、募集しています。ぜひ、お知り合いの方や企業・団体をご紹介ください。

■ お問い合わせは

NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 事務局 担当：佐藤

〒107-0052 東京都港区赤坂 1-6-6 第2井上ビル 3階

電話：電話：03-6277-7458 FAX：03-6277-7459

Email：info@plantatree.gr.jp